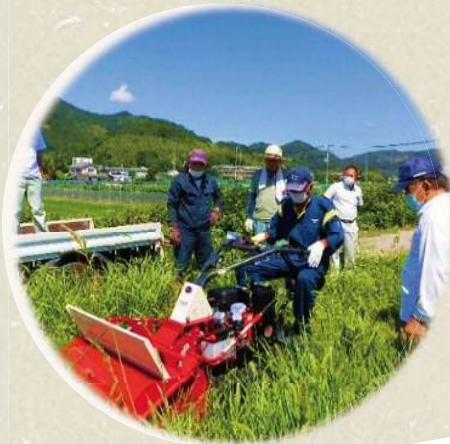


活動事例集



第2回 ひょうごの農業農村写真コンテスト 佳作
「農工共存」(たつの市御津町苅屋)



みんなの思いを実現する取組
～活動組織からの声～

- 「農地や水路の保全が円滑にできるようになった。」
- 「行事に参加してくれる若者が多くなった。」
- 「活動そのものが地域のコミュニケーションの場となった。」
- 「広域化したことにより、広域化事務局の指導で不安なく活動を実施できるようになった。」

※令和6年度活動組織アンケートより



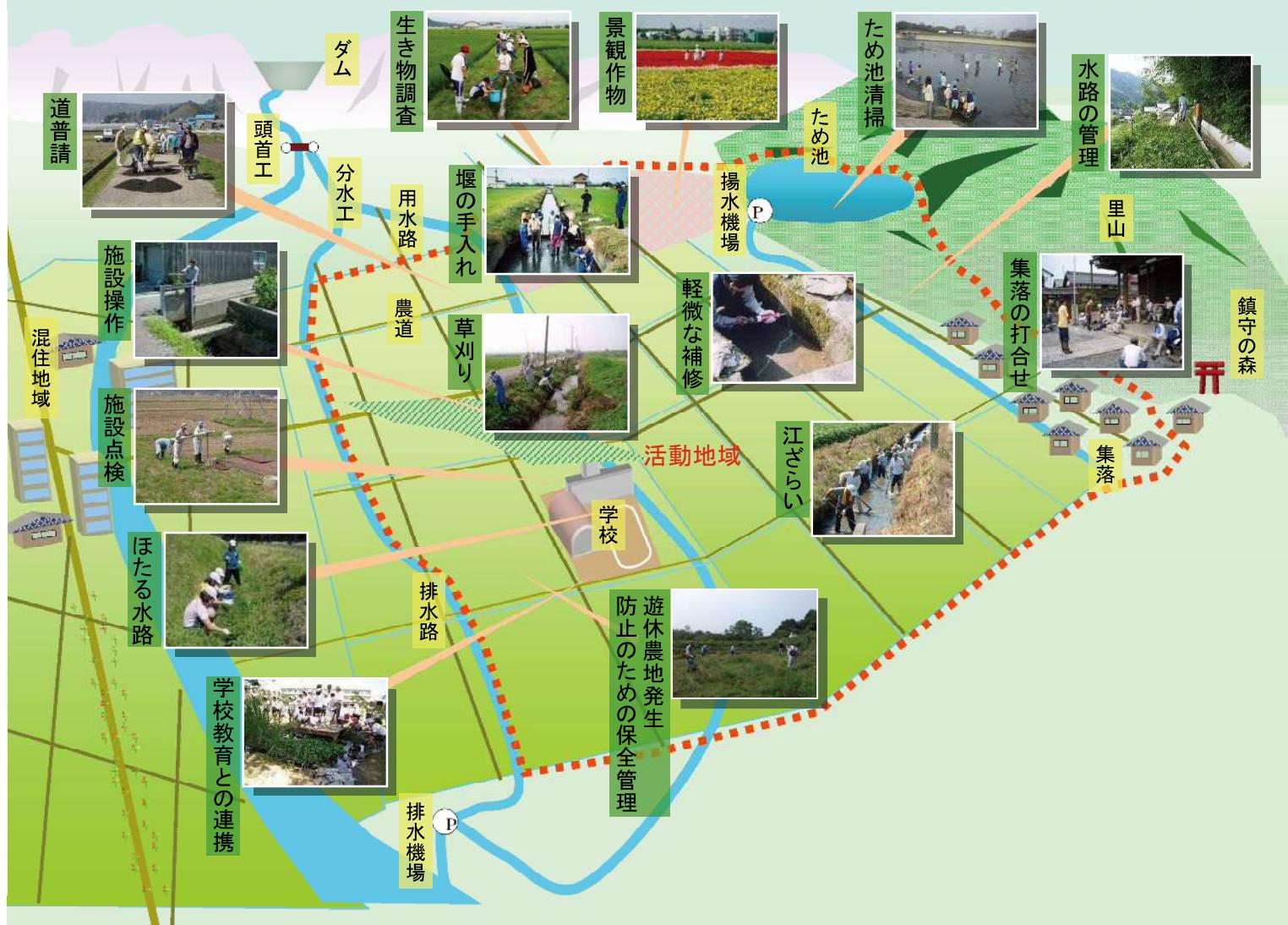
多面的機能支払交付金の概要

農村地域の恵みを次世代に！

農地や農業用水は、食料生産だけでなく ◆きれいな景観 ◆生き物の住みか ◆水質浄化 ◆洪水防止 などの役割を果たす私たちみんなの財産です。

しかしながら、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されています。

「多面的機能支払交付金」は、このような状況に鑑み、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。また、これにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにするとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しします。



農地維持支払交付金

◆基礎的な活動

施設の点検、草刈り、泥上げ、農道の路面補充 など

◆推進活動

地域ぐるみでの話し合い など

資源向上支払交付金

◆質的向上を図る活動

水路・農道・ため池等の補修、農村環境の保全活動、多面的機能の増進を図る活動 など

◆施設の長寿命化

水路の更新、農道の舗装、ゲート・バルブ更新など

みどり豊かなふるさと大賞（令和6年度の取組）



よふど
与布土広域郷守会（朝来市）・・・・・・・・・・・・・・・・ P4



はら
原地域づくり協議会（加古川市）・・・・・・・・・・・・ P5



かじや
鍛冶屋環境保全推進団体（福崎町）・・・・・・・・・・・・ P6



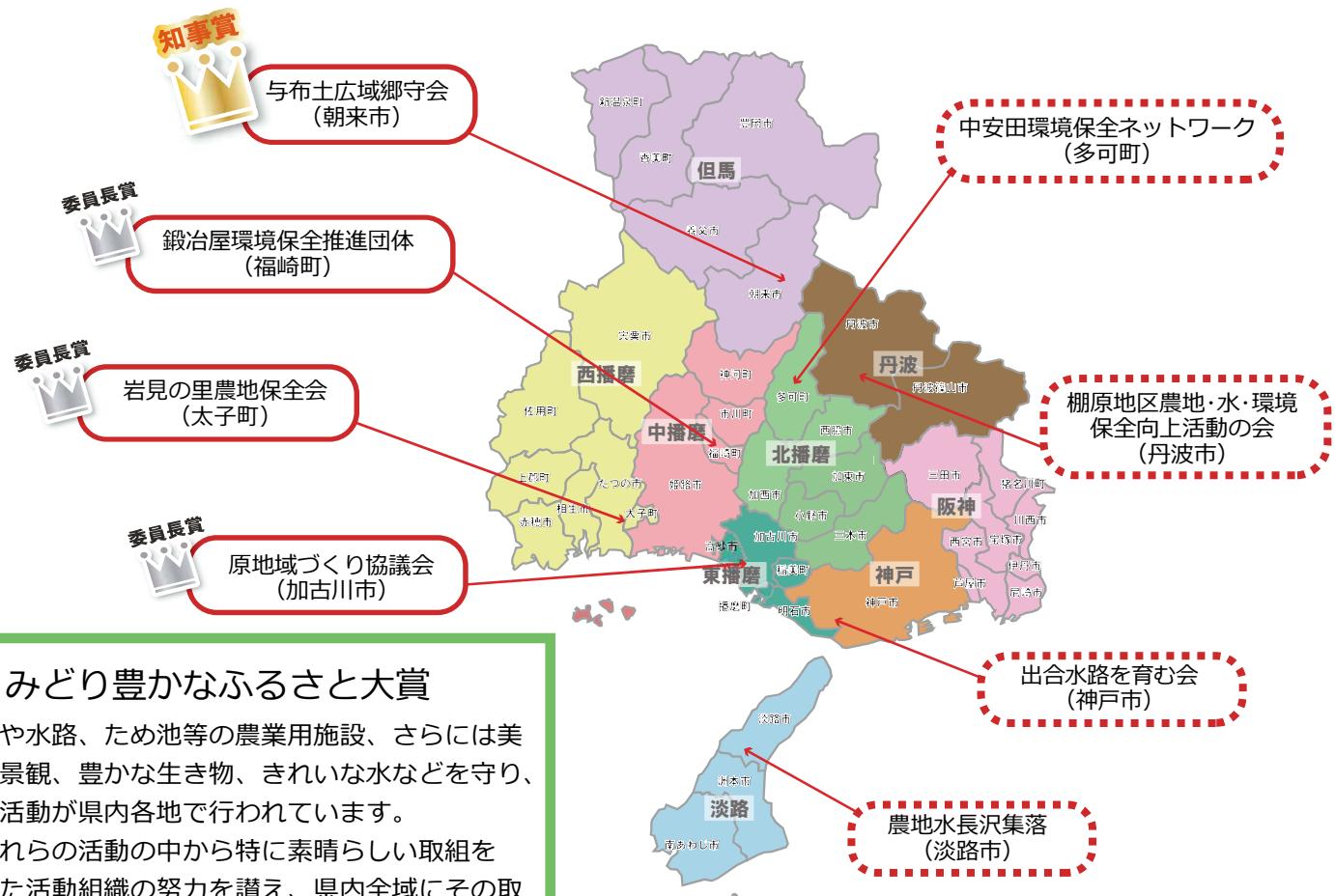
いわみ
岩見の里農地保全会（太子町）・・・・・・・・・・・・ P7

であい
出合水路を育む会（神戸市）・・・・・・・・・・・・ P8

なかやすだ
中安田環境保全ネットワーク（多可町）・・・・・・・・ P9

たなばら
棚原地区農地・水・環境保全向上活動の会（丹波市）・・・・ P10

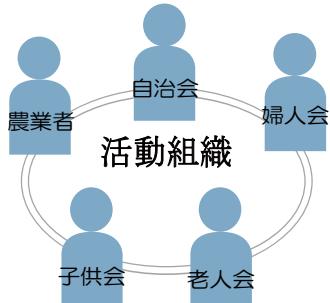
ながさわ
農地水長沢集落（淡路市）・・・・・・・・・・・・ P11





守ろうふる里 つなごう 未来の子らに

活動区分	農地維持	<input type="radio"/>
	資源向上共同	<input type="radio"/>
	長寿命化	<input type="radio"/>
面認積定	118.6ha	



令和2年度に、活動未実施集落を含む10集落で「地域の農村環境を維持していく」という目的で広域組織を設立しました。



広域組織では、地域で増加している耕作放棄地や遊休農地の管理を地域で将来にわたって管理できるよう、一般社団法人「よふどの恵」と連携して農地の維持管理を行っています。

基礎活動



計画策定



農道・水路の草刈り



獣害防護柵の点検整備

特徴的な取組



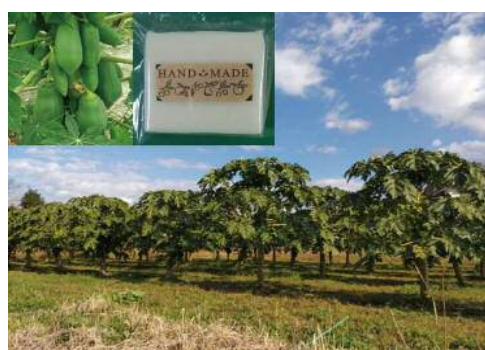
ふるさと村体験スクール



コウノトリとの共生（巣塔）



アイガモ農法



特産品（青パパイヤ）の開発



将来の
夢・展望

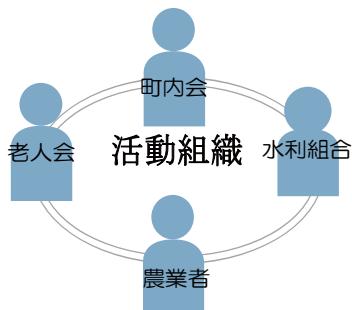
空き家を活用した農家民宿や農業体験など、地域活性化に向けたプロジェクトを進めています。

また、新たな農業の担い手を支援する取り組みを行っており、次世代に向けた持続可能な農業の実現に取り組んでいます。

自分たちの地域は自分たちで守り、持続可能な地域社会を作る

委員長賞

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面認積定	34.1ha	



地域の農業施設及び里山周辺などを農業者及び非農業者が協力して維持管理しています。



また、原大池にて地元小学生を対象としたカヌー体験イベントを開催し、ため池の「大切さ・魅力・安全」と「冒険心・仲間意識・ふる里への思い」を培うと共に、ため池を身近な水辺として親しみ、地域内外との交流を深めています。

基礎活動



ため池の草刈り



水路の泥上げ



イノシシ防護柵点検

特徴的な取組

次世代に繋ぐ取り組み



草刈り隊の発足



カヌー体験イベント



ムカデ芝のピット苗の定植



将来の 夢・展望

地域の課題について話し合い、将来の農地利用の効率的な在り方を明確化し、実現を目指していきます。

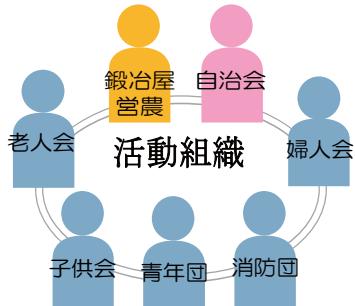
また、カヌー体験イベント等を通して、ふる里を原体験してくれた子ども達が、将来、地域を担ってくれることを期待しています。

原地域づくり協議会(加古川市志方町原)



人にも環境にも優しい地域づくり

活動区分	農地維持	○
資源向上共同	○	
長寿命化	○	
面認積定	35.8ha	



営農組合が中心となり、地域の子ども達を受け入れ、田植え・稲刈り、芋堀り、もちむぎの種まき・収穫などの体験農園や、収穫したもちむぎを使った麺打ち体験など、食育の推進に力を入れています。



緑肥を作付けし、化学肥料や農薬を低減して栽培した米を販売するなど、環境に優しい農業にも取り組んでいます。

基礎活動



草刈り



ため池の点検



地域の話し合い

特徴的な取組



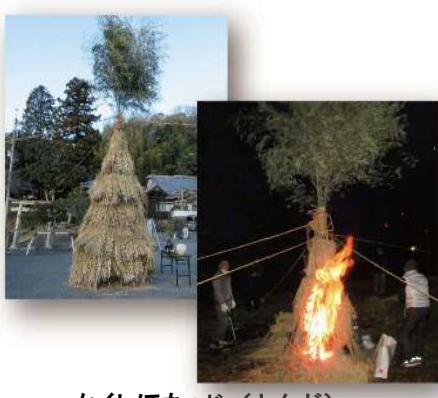
緑肥（ヘアリーベッチ）



特産品による食育の推進



もちむぎの種まき・麺打ち体験



かくしほちょじ（とんど）

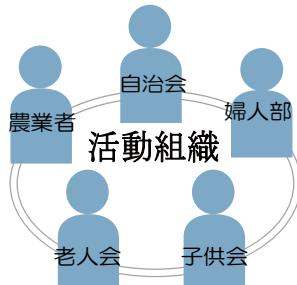
将来の夢・展望

地域計画を策定したことで、守るべき農地を誰がどうやって守っていくのかを決めることができました。それを達成できるように地域全員が参加できる組織を構築し、自然環境や農地保全、伝統文化の維持、高齢者の見守り等を行っていきます。

水田農業を次世代に伝える

委員長賞

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面認積定	20.9ha	



四季折々の様々な催しを開催しており、夏のジャガイモ収穫祭・秋のサツマイモ収穫祭では、集落内外の多くの人達と交流を図っています。また、コスモスやヒマワリ等を休耕田に作付けし、景観形成活動に取り組んでいます。



集落の良さを感じていただくと共に、楽しく過ごす時間を共有することが、地域のやりがいに繋がっています。

基礎活動



畦畔の草刈り



水路の清掃



センチピードグラスの管理

特徴的な取組

三世代交流事業の実施



ジャガイモ収穫祭



餅つき



とんど



味噌の原料となる大豆の生産



西はりま山椒の栽培

将来の
夢・展望

地域の担い手である営農組合が集落の方の『第二の職場』になることを目指しています。

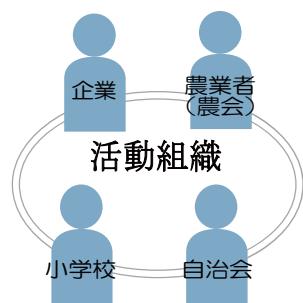
農家だけでなく非農家も適材適所で働くよう、オペレーターの育成や多様な作物の作付など、集落内の農地を次の世代に繋げることができるように取組を進めていきます。

いわみ
岩見の里農地保全会
(揖保郡太子町岩見構)



水路を通じて交流の輪を

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	
面認積定	4.1ha	



基礎活動



草刈り



水路土砂除去



堰の補修

特徴的な取組

食と農を通じた学びの場



出前授業



稲作体験



種芋植付け体験



地域の広報誌に記事を掲載

将来の 夢・展望

都市住民や地域の子ども達との交流活動、水路清掃や農業体験等のイベントを今後も精力的に開催していきます。

イベントを通して、防災・減災・気温を下げる環境保全などの、水路の持つ多面的機能への理解を広めていきます。

中安田環境保全ネットワーク（多可郡多可町中区中安田）

なかやすだ

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面認積定	28.8ha	



地域農業の未来設計図

農業者の高齢化により、離農者が増加しているため、水田農業の維持・発展を基本方針とし、法人として農地を借り受け、法人として農業経営を行うため、農事組合法人「アグリ安田の郷」を令和6年度に設立しました。



毎年10月には、五穀豊穣等を願う稻荷神社秋季例大祭が開催され、伝統的な祭礼が受け継がれています。

基礎活動



点検・機能診断



ため池堰堤草刈り



獣害防護網の保守管理

特徴的な取組



草刈り省力化



植栽による景観形成



景観形成の活動



将来の
夢・展望



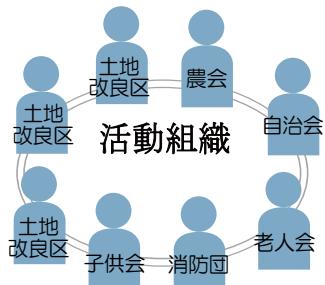
稻荷神社秋季例大祭

多可町で第1号目となる地域計画を策定するなど、積極的に計画策定に取り組んでいます。

集落営農を法人化したことで、集落全体で適切な農地利用を進めています。また、集落内の若年層を積極的に取り組むことで、後継者の育成を図っています。

地域で育む農村景観と農村文化

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面認積定	79.7ha	



基礎活動



点検・機能診断



ため池の草刈り



水路の泥上げ

特徴的な取組



農道の部分補修



秋祭り（相撲甚句）



もちつき（都市住民との交流）



ホタルの生息調査

将来の
夢・展望

担い手が少ない地域のため、多数の土地所有者が自身で農地を管理していますが、高齢化や後継者不足・施設の老朽化が課題となっています。

担い手の確保や交流活動等を通して、活力ある持続可能な地域づくりに努めます。

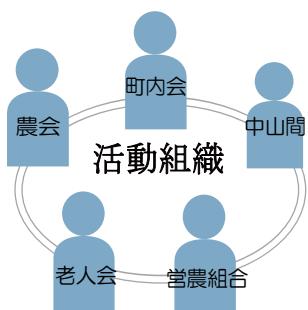
ホタルの生息調査や、秋祭りで五穀豊穣を願つて相撲甚句を披露する等、昔ながらの農村環境や伝統を守る活動に取り組んでいます。

令和5年度からは、地域でもち米を栽培し、昔ながらの杵と臼によるもちつき大会を開催して、地域内外からの参加者を招くことで、農村地域のさらなる活性化を図っています。



長沢の農村風景を未来へ

活動区分	農地維持	○
	資源向上共同	○
	長寿命化	○
面認積定	26.7ha	



「集落の宝である農村風景を維持していきましょう」を合言葉に、農業用施設の保全管理等の基礎活動のほか、生態系保全としてカワニナの放流を行い、ホタルが飛び交う里山の景観を維持しています。

次世代の子ども達に当地区の魅力を感じてもらえるように取り組んでいます。



基礎活動



水路の点検



かいぼり



地域資源保全管理構想の策定

特徴的な取組

推進していく様々な活動



朝市（地産地消の取組）



カワニナの放流



ドローン防除



将来の
夢・展望

地域の守るべき環境や施設を話し合いの場で設定し、獣害柵の設置範囲の拡大や、集落営農組織の立ち上げ、担い手の育成や農地集積、ドローンによる防除等のスマート農業の導入、朝市での地産地消などの様々な取組を推進していきます。

農地水長沢集落（淡路市長澤）

ながさわ

県内の取組状況

優良農地の8割を超える地域で取り組んでいます

【令和6年度実施状況】(R7.3時点)

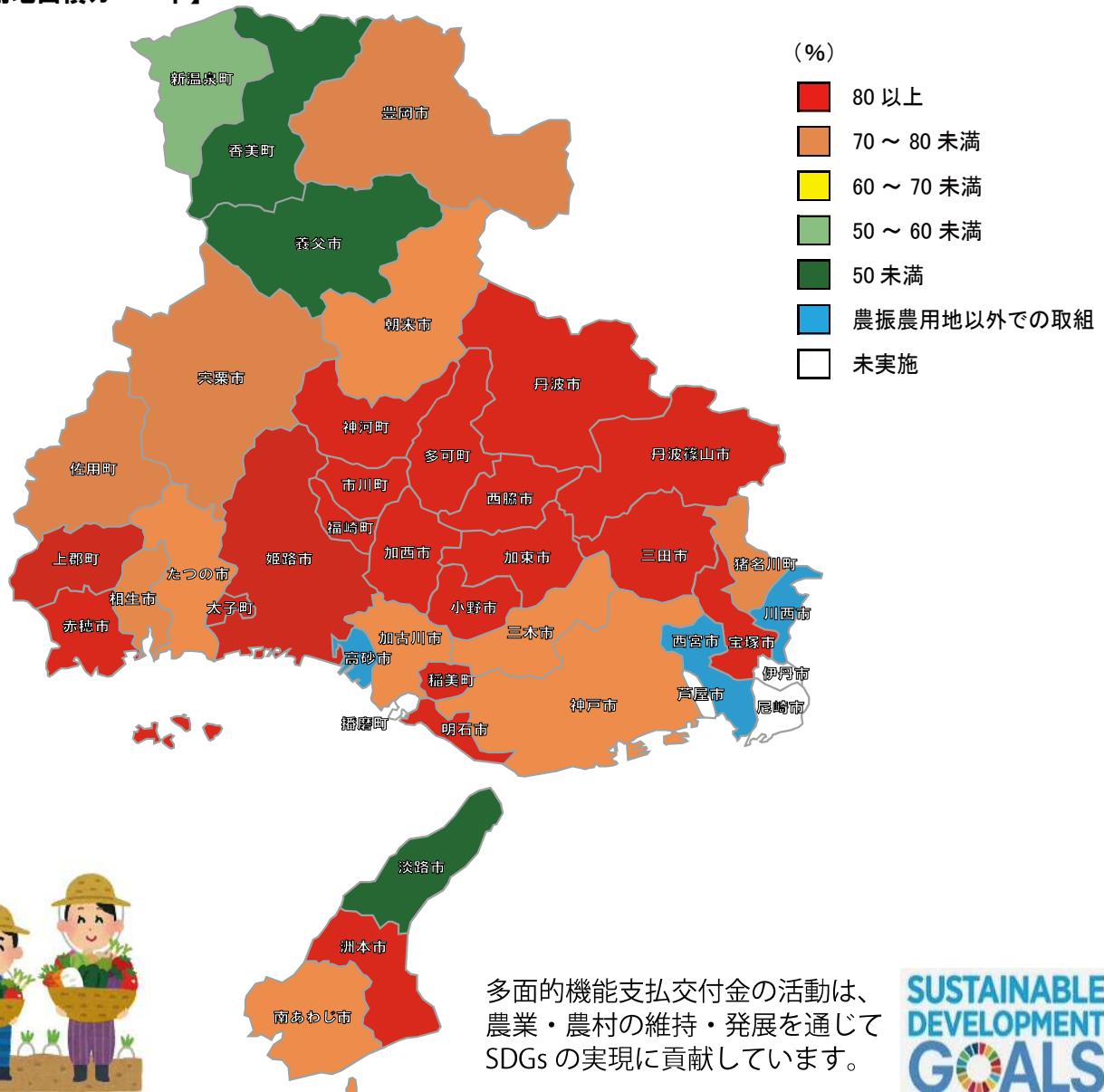
- ・市町数 37 市町
 - ・組織数 1,687 組織
 - ・取組集落数 2,381 集落
 - ・取組面積 50,967ha
 - ・県全体農振農用地面積比率 82%

【兵庫県の取組組織数、取組面積の推移（H19～R6）】

項目	H19	~	R1	R2	R3	R4	R5	R6
活動組織數 (集落數)	1,738 (2,110)		1,883 (2,328)	1,788 (2,351)	1,739 (2,383)	1,705 (2,387)	1,701 (2,388)	1,687 (2,381)
取組面積(ha)	46,253		50,171	50,604	50,812	51,061	51,212	50,967

※広域化により島内組織数は減少傾向にあります

【市町別農振農用地面積カバー率】



多面的機能支払交付金の活動は、農業・農村の維持・発展を通じてSDGsの実現に貢献しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お問い合わせ

兵庫県多面的機能発揮推進協議会

TEL : 078-360-6605 FAX : 078-360-6606

E-mail : tamen.kyougikai@hyogo-nouchimizu.com

ホームページ：<https://hyogo-nouchimizu.com>

丘康 多天的



スマートフォンからは
こちら



みんなでつなごう

兵庫の農村

令和7年12月発行